



## 山と海との 大きな繋がりに 感動している。

青木  
隆 林業

若き日、バイクで全国を旅していた青木隆さんは美和さんと知り合い、二人でたくさん話し合った。そして選んだのが、「自然の中の人生」だった。大学で建築史を学び、古民家研究のフィールドワークをつづけてきて、

「ああいうところで暮らしたいなあ」という思いが下地にあった。妻とも「同じ方向を向いていることがわかりました」。

となれば、拠点だ。全国をめぐる。そして、縁あって阿蘇の林業家の親方と知り合い、いつきに道が開ける。里山の古民家が空いており、そこで暮らし、一年間、熊本県の長期研修で学び、晴れて山の仕事師に。

林業は木を伐る仕事と漠然とイメージしていたが、携れば携るほど、「その奥の深さに心打たれていきました」。森があるべき姿に育つよう、人の手をかける。苗を植え、草を刈って造林し、間伐により陽を導き、整える。そうして森は空から得た水をたっぷり抱きとめる。水源涵養だ。その豊かな水が川となり海を育てる。「山と海との大きな繋がりに感動しています」。

古民家暮らしは、よいいなものがない暮らし。不便は？と尋ねられると、答えるに窮する。不便だなんて考えたこともないのだ。家族とともに、「一生、山で生きていきたい」。静かに、きつぱりと言う。かたわらで妻が微笑む。



## 山と田が 牛を媒介にして 循環する。

畜産農家  
小坂今朝和

阿蘇の西側玄関口、赤水。小高い草原に昇ると、いつきに眺望が広がる。間近に迫るのは、杵島岳の孫火山・米塚のこんもり愛らしい円錐形。深呼吸しながら見とれていると、あか牛たちが次々と寄ってきて取り囲まれる。どの表情も笑顔に見えるのは、むろん小坂今朝和さんへの親愛の情だ。

「かわいいですよ、みんな。家族のようなものです」畜産農家としてベテランである。そのこだわりは、ずばり「循環型」だ。

草原の放牧で繁殖牛を育てる。よく食べ消化する牛たちは優良な堆肥を生む。その堆肥が田を豊かにする。米が育つ。その稲わらが……というように、山と田が牛を媒介にして理想的な循環をつづけていく。仕事のかたわら、小坂さんは地域の人びとのスポーツの振興にも汗を流す。「この地ならではのスポーツを老若男女に……」

という「火の山スポーツクラブ」の会長だ。とても還暦過ぎに見えない身のこなしは、長い歲月、阿蘇の原野で牛とともに鍛えた足腰のあかしだろう。

## 人の力を 信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、

阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局（阿蘇市観光課）

TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

然  
zen  
A s o C i t y

● 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。

※掲載された内容は取材当時のものです。

2019.3 広報あそ

2

今月の主な内容・CONTENTS

- 4 特集 **猫と人の共存** 
- 8 まちの話題
- 12 市役所からのお知らせ
- 17 阿蘇医療センター通信 Vol.41
- 18 人権作文 後藤 <sup>なるみ</sup> 成美さん
- 19 図書館へ行こう！
- 20 **くらしの情報**
- 24 子育て支援センター情報
- 25 お慶び ご寄付
- 26 ASO 田園空間博物館通信 No.78
- 28 カルデラ暮らし Vol.22
- 29 地産地消クッキング **野菜とイカの酢みそ和え**  
さわやかフレッシュマン 井野 <sup>ほのか</sup> 穂乃佳さん
- 30 3月カレンダー

今月号の表紙

市内のある場所では猫たちが集団で生活しています。でも、もともとここに住んでいたのではなく人間の都合で捨てられた猫たち。不幸な猫を増やさないために、猫と接するための知識など4頁～7頁でお伝えします。



市役所からのお知らせ (12～16)

熊本県議会議員一般選挙／一部損壊世帯に対する義援金の申請期間が再延長されます／被災者生活再建支援金の申請はお済みですか？／広報あそ広告募集／住民票の写し等の請求には本人確認書類を忘れずに／住民異動届の手続きは余裕をもって／4月から森林経営管理制度が施行されます／春の全国火災予防運動

くらしの情報 (20～23)

不要なパソコンと小型家電を宅配便で回収します／阿蘇～福岡の直通バス運行開始／携帯電話・スマートフォンをオリンピックメダルにしよう／冬季限定熊本～高雄線グループ旅行助成事業／野生鳥獣は許可なく捕獲できません／「熊本のいのちの電話相談員」を目指す方への説明会／河川美化活動を行うボランティア団体を支援します／二重峠トンネル工事進捗状況／「熊本のいのちの電話相談員」養成講座受講生募集／手話奉仕員養成講座受講者募集／消防団員募集／地域づくり講演会「地域は面白い～聞かなきゃ損するお話し会～」／法律相談／心配ごと相談／障がい者相談／年金出張相談／消費生活相談／認知症カフェ／こころの健康相談／あそ若者就労相談会／阿蘇たかなまつり 2019

夢を追いかける青少年の声を届けますー

# 夢を追いかけて

ぼくの将来の夢は航海士になることです。修学旅行の時に熊本港から長崎までフェリーに乗って行きました。その時に操舵室を見せてもらって、航海士の仕事やフェリーの仕組みについて教えてもらいました。

操舵室のたくさんの機械を操って運転する航海士さんがとても格好良く、フェリーの旅も楽しかったです。ぼくもお客さんを楽しませることが出来る航海士になりたいです。

## 加来 直央弥

かく なおや／山田小学校・6年